

健康問題

米ソーシャルワーク

米国のソーシャルワーク(CSWE)が、10月13日ポートランドで開かれ、参観機会を得た。取材が目的だが、日本の高齢者事情、介について、アジア太平洋諸国た研究者の集まりで、20分する役割も仰せつかっている。長年、医療雑誌の編集していたこともあり、高齢者ソーシャルワークの重要であったのだが、米国では情が違ふことを教えられた。米国の歴史は、そのまま史でもある。世界から米匠て集まり続けてきた人たを弱者でもあった。そのマイの権利を擁護することガールワーカーの最大の仕事。例えば、経済活動はグロを続けているが、各国は、独自の文化を持ち、その値う。グローバル化の折り返いをよいか、そのことをどのよ

ワイリエンジニアリング社長

沢入 芳洋氏

静岡県御前崎市で生まれため、物心がついた時から海で遊んでいた。父は公務員だったが、母が釣具屋を営んでいたため、釣りは誰に教わるまでもなく自然に覚えた。春や秋には質のよいマタイやイサキが釣れ、刺し身にしてよく食べたものだ。私にとって御前崎の海は、まさに「ふるさと」と言っている。



16歳で小型船舶4級の免許を取得し、全長5.5mほどの船を操縦するようになった。これまでに6艇乗り換え、現在は全長10m、5.5の船を所有する。釣りに興じている時は仕事のことなど何もかも忘れて純粋に楽しむことを心がけている。会社員時代は休日になると、仕事の同僚や取引先で親しくなった人たちを連れて海に出たが、一経営者となってからはなかなか思うように時間が取れなくなっってしまった。また以前のように海に行くためにも、今はやるべき仕事とし

御前崎の海、釣りへ出港

今年51歳になる私の長い釣り歴の中で一番の思い出と言っているのが、2年前の7月に全長2.5m、重さ91kgのカジキマグロを釣り上げたことだ。御前崎の港から南東40°ほど沖に金洲という場所がある。御前崎と石廊崎の内側が駿河湾だが、駿河湾の最深部は水深2500mで日本一深い湾。その延長上に数カ所海底が盛り上がりがある場所があって、そこに魚がたくさん集まる。金洲もその一つであり、多くの釣りが好んで遊ぶ場所だ。(静岡県御前崎市白羽5-1-6の25)



全長2.5mのカジキマグロ釣ったのが一番の思い出...と沢入さん

週末は 別人

